

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月5日

評価対象事業		評価者	道路課担当課長 齋藤 政徳	
都整-16	重点事業	道路新設改良事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 道路課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	道路整備	施策の方針	道路・橋りょうの整備・維持管理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	道路網の整備を図ることにより、都市環境の改善に寄与するため。
効果	交通の円滑化、安全の確保等、交通環境及び生活環境の向上を図る。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・大規模住宅地等の道路改良整備工事を行った。 ・平成24年度に策定した「道路舗装修繕計画」の改定を行い、2019年から2023年までの修繕計画を策定した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人口等のデータ	人口	176,466人	176,308人	人口	176,436人	
	世帯数	81,150世帯	81,763世帯	世帯数	82,444世帯		
運営資源状況	事業の対象者数			事業の対象者数			
	決算値(千円)	314,272	222,066	当初予算(千円)	200,651		
	国県支出金	80,902	24,681	国県支出金	66,335		
	地方債	197,600	177,100	地方債	120,800		
	その他	33,458	19,788	その他			
	一般財源	2,312	497	一般財源	13,516		
事業経費運営	人員配置数	1.9	1.6	人員配置数	1.9		
	人件費(千円)	15,834	13,360	人件費(千円)	15,335		
	総事業費(千円)	330,106	235,426	総事業費(千円)	215,986		
	市民1人当りの経費(円)	1,871	1,335	市民1人当りの経費(円)	1,224		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	舗装の補修要望は、市民からの多数寄せられているため、予算規模を拡大して対応を図る必要がある。		
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民から舗装や補修の要望を多数受けていることから、事業費の拡大を図る必要があるが、人員の配置や厳しい財政状況を考慮すると困難な状況である。 ・平成24年度に策定した「道路舗装修繕計画」を平成30年度に改定したことから、この修繕計画に基づく改修を進めていく。
-------------------	--

平成30年度(2018年度)事業実施にあつての課題(前年度未解決の事項を含む)	舗装の補修要望は、市民からの多数寄せられているため、予算規模を拡大して対応を図る必要がある。	
課題解決のために行った平成30年度(2019年度)の取組	道路占用者会議において、占用事業者と調整を図り、同一箇所でも繰り返し掘削が生じない対応を講じている。	<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	平成30年度に「道路舗装修繕計画」の改定を行い、年度別計画の見直しを行ったが、工事の執行には人員の確保と予算確保が課題となっている。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	道路舗装修繕計画の進捗率(単年度)					単位	km	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)		H30(2018)	R01(2019)		
計画的に実施する必要があるため。	目標値	3.4	3.4	3.4	3.4		3.4	3.4		
	実績値	1.9	1.5	2.2	2.7		2.7			
	達成率	55.9%	44.1%	64.7%	79.4%		79.4%			

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	
-----------------------	--